

歴史を学ぶこと

城南中学校 三年 日下部 凌政

なぜ私達は歴史を学ぶのだろうか。もう過ぎた過去の出来事よりも私達が生きる現在や未来のことの方が重要だと思う人もいるだろう。私も現在や未来に向けてのことは重要だと思う。だがそれは決して歴史を学ばなくて良いということではない。それどころか歴史を学ぶことこそが現在や未来に向けてのことにつながると私は思う。

そもそも歴史とは何だろう。もちろん過去に起きた出来事というのも一つだろう。その他に先人達が成功や失敗で得た知恵や工夫、苦悩や犠牲といった経験の塊であり、この塊を学ぶことこそが歴史を学ぶことだと私は思う。ではそのためにどうしたらいいのか。学校で勉強するような、過去の出来事を覚えることは歴史を学ぶことと言えるだろうか。私はそうは思わない。この出来事を知る、覚えるといったことは歴史を知ることであり、歴史を学ぶための準備段階だと思う。歴史を学ぶためには、知った出来事がなぜ、どのように起きたのか、どのような経過をたどり、その結果どうなったのを知ることが必要だと思う。真珠湾攻撃を例に挙げると、なぜ日本は真珠湾を選んだのか。日米双方がどのような行動をとり、状況はどのように推移したのか。その結果日米双方や第二次世界大戦、そして、その後の世界にどのような影響を与えたのか。といったことをできる限り多く、当時を経験した人の言葉を交えながら知っていくことで、初めて歴史を学んだことになると思う。

そして最も重要なことは、なぜ学ぶのかだ。「トム・ソーヤーの冒険」で知られるマーク・トゥエインが遺した言葉に、「歴史は繰り返さないが、韻を踏む」というものがある。この言葉は「過去に起きたことと全く同じではないが、似たようなことが起きたことはある」という意味だ。つまり歴史を学べば、韻を踏んだ時に先人達の失敗を繰り返さないようにできるということだ。また、今ある課題の多くは過去に原因があるため、歴史を学ぶことはその解決の参考になることが多い。例えば、新型コロナウイルスの感染対策にはスペイン風邪が流行した時に得た、三密や接触の回避、マスクの着用などが感染予防になるといった経験がいかされている。また、日本は災害が多いため、過去の災害の経験が現在の災害対策にいかされている。さらに、一九六二年のキューバ危機が戦争に発展しなかったのは、多くの実験によって核爆弾の破壊力を認識していたことや、広島と長崎に投下された原子爆弾が人間にどんなに深刻な被害を与えるのかを米ソ両国が理解していたことが理由の一つだと言えるのではないか。この他にも様々な分野で過去から学び、同じ失敗を繰り返すまいと努力している。このように人は歴史から学んだことを今にいかし、先人達が経験してきた失敗や悲劇を繰り返さないようにできるのだ。私はこれこそが歴史を学ぶべき理由だと考える。

もちろん、この他にも多くの理由があるが、私が歴史を学ぶ理由は、単純に好きだからだ。いくら学んでも全ては学びきれないから学ぶたびに新たなものを得たり、新

たな疑問が生まれたりする。そしてその疑問を解決するためにまた学び、新たな疑問が生まれ…といくらでも広がっていく。たとえ疑問が解決できなくても、それについて深く考えることができる。得たものが必ず全て正しいとは限らないが、とにかく歴史というのは、学んでも考えていても知識をもっているだけでも楽しく、私達の人生を豊かにしてくれるものの一つだ。そして何より好きだから学ぶのだ。

このように、歴史は私達の過ちを防ぎ、人生を豊かにする力をもっている。偉大な先人達が遺していった経験を無駄にしないため、そして現在や未来を生きる私達のためにも、歴史を学ぶことは重要だと私は思う。